

21 世紀菜の花コミュニティプラン 中間評価結果（概要）

（平成 20 年 3 月 14 日現在）

千葉県社会福祉協議会

21 世紀菜の花コミュニティプラン中間評価結果 (概要)

1 中間評価の目的と進め方

本会は、平成 13 年度から平成 17 年度までの 5 か年計画「第 2 次千葉県社会福祉協議会発展強化計画」に基づき、千葉県における地域福祉を総合的に推進してきましたが、社会・経済状況の変化や多様化・複雑化する福祉ニーズへの対応と併せて、平成 16 年 3 月に千葉県が策定した「地域福祉支援計画」との整合性を確保する観点から、本会が今後の地域福祉を推進するための行動指針として、平成 16 年 4 月に「21 世紀菜の花コミュニティプラン」を策定しました。

従来、計画策定後の本会の取り組み状況については、「PDCA サイクル」が不十分なため、5 か年計画と年次事業計画との整合性が図られておらず、事業の一貫性と実行力に対する厳しい指摘が続いていました。

今回の中間評価は、7 つの基本的視点を実現するために策定した 102 の推進項目についての進捗状況と達成度等の検証に留まらず、平成 21 年度から開始される次期計画への方向性を示すことを目的としていますが、これを機に、今後の事業推進における「PDCA サイクル」を確立させることも目指しています。

中間評価の進め方は、一次評価として、推進項目を実現するための事業を担当している職員による「自己評価」を行い、その結果を踏まえて担当職員の直属の上司を含む管理職職員の小チームによる評価及び作業部会全体で二次評価を実施する二段階方式で進めました。

なお、本プラン策定後に検討、開始された新規事業である介護支援専門員養成事業（平成 16 年 4 月開始）、子育て支援策としての緊急サポートネットワーク事業（平成 17 年 4 月開始）、介護サービス情報の公表事業（平成 18 年 4 月開始）についても本プランに組み込み、今回の中間評価の対象としています。

2 評価対象

7つの基本的視点を実現するために策定した102の推進項目を対象としました。

(1) 基本的視点別推進項目

基本的視点	推進項目
社会福祉の普遍化への対応	32
個別対応ができる現場主義の徹底	16
地域福祉総合機関としてのシンクタンク化	16
行政との良きパートナーシップの構築	3
地域福祉推進プラットフォームの創造	7
開かれた経営と効率的な運営	19
財源構造の改革と経営基盤の強化	9
合 計	102

(2) 担当班別推進項目

担当班名	推進項目
総務班	26
評価推進班	3
地域福祉・明るい長寿推進班	44
福祉資金センター	2
権利擁護・後見支援センター	8
ボランティア・市民活動センター	12
福祉人材センター	1
種別協議会班	1
社会福祉研修センター	1
介護支援専門員養成班	1
緊急サポートネットワーク	1
運営適正化委員会	2
合 計	102

3 評価基準日

平成 19 年 10 月 1 日

4 評価手順

(1) 一次評価 (担当職員自己評価)

推進項目を実現するための事業を担当する職員が現在までの進捗状況と達成度等を検証するとともに、プラン終了期間 (平成 21 年 3 月 31 日) までの取り組みの方向性について自己評価を行いました。

(2) 二次評価 (作業部会評価)

現在までの進捗状況と達成度等を検証するとともに、次期計画への方向性について、担当職員の直属の上司を中心とした小チームにより評価を行い、作業部会全体で総合評価を実施しました。

5 中間評価結果

(1) 評価の総括

区 分	推進項目	
概ね達成	8	7.8%
計画期間終了までには達成する見込み	20	19.6%
必要性はあるが期間内の達成は困難	57	55.9%
休止・廃止	17	16.7%
合 計	102	100.0%

(2) 次期計画への方向性

区 分	推進項目	
発展・拡大	20	19.6%
現状維持	48	47.1%
縮小・見直し	16	15.7%
休止・廃止	18	17.6%
合 計	102	100.0%

(3) 評価結果のまとめ

中間評価の結果は、概ね次のような特徴となっています。

< 達成率の高い分野 >

従来から取り組んでいる事業の見直し、または本プラン策定前から改善の指摘を受けていた項目（22項目）については、達成率 54.6%であり、全体の達成率を大きく上回っています。

< 達成率が低い分野 >

先駆的事業関連項目（24項目）については、「必要性はあるが期間内の達成は困難」が 79.2%、「休止・廃止」が 20.8%であり、達成率は 0%でした。

また、情報関連項目（20項目）については、達成率 20.0%でしたが、「休止・廃止」が 55.0%であり、計画策定時における実現性への精査が不十分であったと考えられます。

その他、従来から取り組んでいる事業の発展・強化を目指した項目については、達成率 33.3%であり、事業に一部着手はしていますが完結していないものが 66.7%となっています。

< 分野別評価結果 >

分野	区分		概ね達成		期間内達成見込み		必要性はあるが期間内達成は困難		休止・廃止		合計	
	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率	項目数	達成率
継続事業の見直し等の関連項目	4	18.2%	8	36.4%	9	40.9%	1	4.5%	22	100.0%		
先駆的な事業の関連項目	0	0.0%	0	0.0%	19	79.2%	5	20.8%	24	100.0%		
情報・広報等に関連した項目	2	10.0%	2	10.0%	5	25.0%	11	55.0%	20	100.0%		
継続事業の発展・強化を目指した項目	2	5.5%	10	27.8%	24	66.7%	0	0.0%	36	100.0%		
合計	8	7.8%	20	19.6%	57	55.9%	17	16.7%	102	100.0%		

総体的には達成率の低さが目立っていますが、その原因として次の 4 つが考えられます。

千葉県が策定した「千葉県地域福祉支援計画」に連動させるため、十分な議論をしないままに短期間で策定した経緯があり、計画の意義を事務局職員が十分に理解していないこと

複数の部署にまたがる推進項目について、部署間の連携・協議ができておらず、策定後の進行管理が不十分であったこと

計画範囲においてウィングを広げすぎてしまい、総花的で理想追求型になってしまったこと

計画サイクル（5年間）が社会変革のスピードにマッチしておらず、計画の実行よりも、新たな福祉施策への対応を優先する結果となってしまったこと

以上の反省をもとに、最終年である平成 20 年度を千葉県社協改革元年と位置づけ、本プランの総仕上げを行うとともに、次期計画の策定に取り掛かります。また、地域福祉の中核的推進機関に相応しい団体に生まれ変わるべく、経営改革を推し進め、様々な施策に積極的に取り組みます。

6 次期計画について

(1) 次期計画のコンセプト

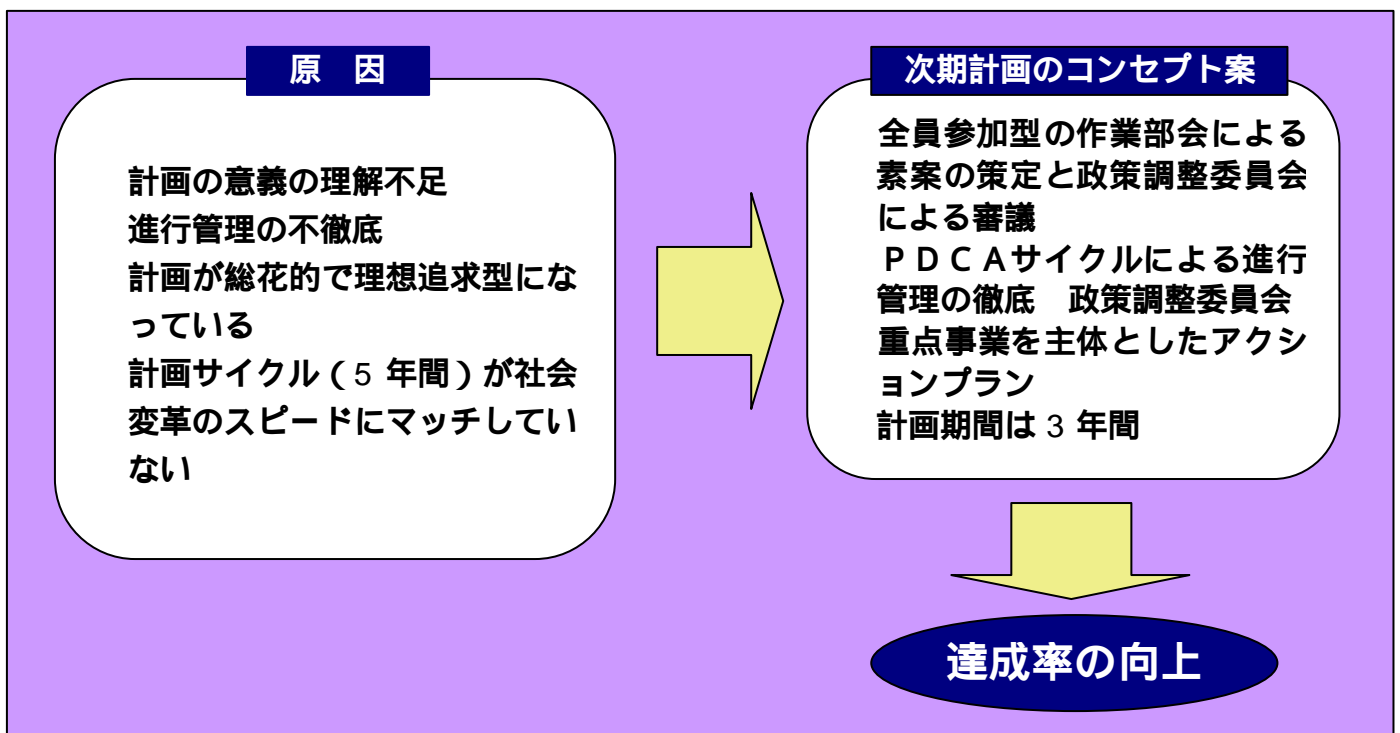
前述した本プランの達成率の低さの原因をもとに、次のコンセプト案による次期計画の策定を検討します。

作業部会（事務局職員）によるたたき台の作成と政策調整委員会（P.8 参照）による審議

PDCA サイクルによる進行管理の徹底（政策調整委員会による進行管理）

重点事業を主体としたアクションプラン

計画期間は 3 年間



(2) 次期計画の方向性

中間評価結果で推進項目別にまとめた「次期計画への方向性」におけるキーワードを集約したところ、概ね次の6つのカテゴリーに分類することができました。

協働・協創機能の強化

「協創」とは、連携・協力しながら一緒に政策を創り上げていくことを意味した造語であり、「協働」に連動させたもの。

包括的生活支援機能の強化

福祉人材の確保・養成機能の強化

福祉サービスの質の向上機能の強化

情報提供機能の強化

経営基盤の再構築

以上の6つが本会が地域福祉を推進する上で必要とされている機能と考えられます。

さらに、～が外的機能の改革なのに対し、～は内的機能の改革と整理することができ、集約すると次の2つに大別することができます。

地域福祉推進のリーダー的機関に相応しい専門機能の強化
経営構造改革による経営基盤の再構築

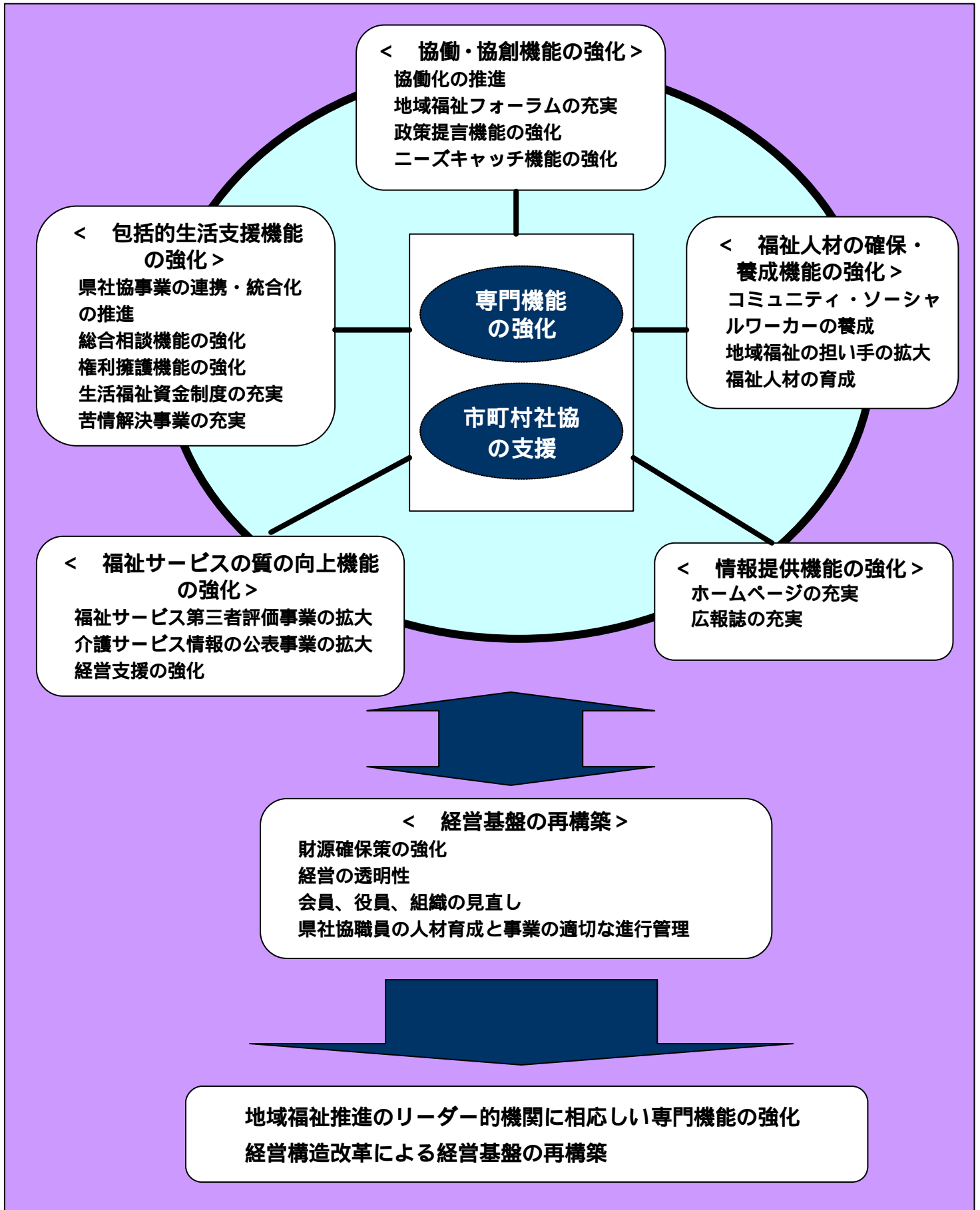
なお、本会の使命のひとつである市町村社協の支援については、～の機能を強化することがイコール市町村社協の支援強化につながると考えられます。

次期計画の構成としては、上記「～・～」の2つを基本方針とし、カテゴリー別に分類した6つの機能を基本目標に位置づけます。そして、基本目標を達成するために必要な事業を作業部会と政策調整委員会とで検討していくという構図が考えられます。

なお、次期計画の方向性のイメージを別紙にまとめました。

(別紙)

中間評価から導き出した次期計画の方向性のイメージ



(3) 政策調整委員会及び政策調整班の新設

本プランの最終評価と第2次21世紀菜の花コミュニティプランの策定、及び次期プラン策定後の進行管理（PDCAサイクルの確立）の徹底と、様々な福祉課題を解決するための政策推進機能を強化するため、外部有識者で構成する政策調整委員会を設置するとともに、総務部内に政策調整班を新設します。

また、政策調整班は、次期計画で策定した内容だけでなく、今後発生する新たな課題や施策にも適切に対応し、適宜プランの中に位置づけていく役割を担います。

